



## 夏祭り完全復活！子どもの居場所と豊かな学びの実現

校長 田中さくら

学校は38日間の夏休みが終わり、本日より前期後半がスタートしました。いかがお過ごしでしたでしょうか。日焼けしたり背が伸びたりして、見た目も頼もしくなった子どもたちが朝から暑い中ではありましたが、元気に登校してきてくれたことに、ご家庭で朝から学校に送り出していただいたことに、教職員一同感謝申し上げます。報道されている「危険な暑さ」はまだ続っていますが、冷房や換気、WBGT（熱中症暑さ指数）測定器の活用等、熱中症予防に配慮して教育活動を続けてまいります。

今年4年ぶり3年ぶりとして、各地域、町内会・自治会の夏祭りが公園や神社等の場所で、開催されました。暑い中法被を着てのお神輿担ぎや山車引き、盆踊り、少し緊張しながらも皆さんに見守り拍手をいただけるステージ発表、出店等で子どもたちが集まって、ご家族で笑顔で楽しんでいる姿を見かけ、ほほえましくなりました。浴衣を着てかき氷を友だちとそれはいれしように食べている姿などは、日常の学校では決して見ることができません。



本校でも、マーチングバンドやよさこいソーラン、和太鼓等で、参加させていただいた子どもも多く、ご褒美のお菓子などをいただき、地域の方々との交流を深められ、よい体験をさせていただきました。夏休みならではの地域行事への参加で、町内・自治会長様始め、多くの地域の皆様に、地域の子どものためにたいへんお世話になりました。本当にありがとうございました。

子どもの居場所作りの大切さが重要視されている昨今、家庭だけ、学校だけ、放課後だけでなく、地域の温かい人々に支えられ、安心して楽しめるお祭りのような正に居場所のある鳥が丘小学校の子どもは、幸せだと改めて感じました。これからも9月・10月とまだまだ秋祭りや「竹灯籠の夕べ」等の地域のイベントが予定されています。今はお世話になり支えていただいている子どもたちですが、これからの地域の担い手として、地域行事への参加や交流を通して、地域に貢献できる大人に育ってほしいと思っています。

保護者、地域の方々と共に子どもたちが安心して学校生活を送ることが出来ますよう取り組みます。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。